

## 平成28年3月期 中間決算の概要

当期の日本市場においては、公共工事は減少傾向にあるものの、震災復興工事や景気の緩やかな回復を背景に民間工事は堅調に推移し、更新目的による新車購入が進んだ結果、クローラクレーン新車需要は当社推定で対前年同期比6%の増加となりました。

また海外では、先進国市場においては北米の経済の回復が続き、西欧は英国を始めとして緩やかに景気が回復したことで、需要は微増となりました。一方、新興国市場におきましては、中国経済の減速が同国のみならずアジア地域にも波及し、需要は減少しました。その結果、海外需要は減少しました。

こうした市場環境に加えて、各種物価上昇に伴い資材費上昇が進んだものの、当社は原価低減や固定費抑制など各種体質強化策に取り組んだ結果、当中間期の業績は以下の通りとなりました。

### 【平成28年3月期中間の経営成績（連結）】

(%表示は対前中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
当中間期	22,305	10.2	2,560	Δ4.7	2,551	Δ4.9	1,799	30.7
前中間期	20,234	19.0	2,686	134.2	2,682	131.2	1,376	66.4

国内事業については、新車需要の増加により販売台数が増加し、またサービス事業の拡充にも努めた結果、当中間期の国内売上高は13,490百万円（前年同期比16%増）となりました。

海外事業については、北米ではLink-Belt Construction Equipment Company、欧州地域においては、Hitachi Construction Machinery (Europe) N.V.、中東地域では、Hitachi Construction Machinery Middle East Corporation FZE など各地域の代理店と連携し、代理店の販売支援、サービス支援や新興国市場の開拓などに努めて、当期の海外売上高は8,815百万円（前年同期比2%増）となりました。

今後の見通しとしましては、日本・北米を中心に先進国経済は緩やかな成長に陰りが見えはじめており、新興国経済もさらに減速するものと予測されます。このような中、クローラクレーンの世界需要については、資源安や各地域の地政学的リスクも相俟って、まだら模様が強まるものと見て、対前年比で横這いもしくは減少と予測しております。

上記の通り、市場環境は一段と不透明な状況にありますが、当社は以下の重点方針を推進することで、引き続き競争力の有るスリムな事業体質の構築を目指します。

- 1) 徹底した原価低減の推進
- 2) 市場要求に合った新機種開発の推進と開発力の強化
- 3) 関係会社及び代理店との連携強化によるお客様満足度のさらなる向上
- 4) 固定費比率の低減
- 5) キャッシュフローの改善
- 6) 内部統制を重視した企業体質の強化

(お問い合わせ先)  
日立住友重機械建機クレーン株式会社  
経営企画部  
Tel/ (03)3845-1386 Fax/ (03)3845-1379  
〒110-0015 東京都台東区東上野六丁目9番3号  
URL/ <http://www.hsc-crane.com>